

---

中身が変化し、成長する本

# 「iPadがやってきたから、 もう一度ウェブの話をしてしよう」

梅田望夫氏が伝説のプログラマーと往復書簡

…「ウェブ立志篇」待望の電子書籍化

---

株式会社産経新聞社(住田良能社長)と株式会社産経新聞出版(皆川豪志社長)及び株式会社産経デジタル(近藤哲司社長)は19日、米アップル社のiPadとiPhoneで読む電子書籍「iPadがやってきたから、もう一度ウェブの話をしてしよう」(梅田望夫著)をリリースしました。

<http://www.sankei.co.jp/eBook/umeda/support/>

## ■ 成長する電子書籍

IT企業経営コンサルタントとして活躍する梅田望夫氏(ミューズ・アソシエイツ社長)と伝説のプログラマー、中島聡氏が、米アップル社のタブレット型コンピューターiPadの登場を契機に交わした往復書簡集です。未来を見せる2人が刺激的な未来像について語った書簡が、産経新聞グループ初の本格的電子書籍となりました。

この電子書籍の特徴は、ご購入後も往復書簡がどんどん発展していくことです。梅田氏、中島氏が読者からの質問をiPhoneやiPad上で受け、これに対する答えが随時加わっていきます。固定的な紙の書籍の電子化とは一線を画し、コンテンツが“成長”します。ウェブとつながった電子書籍ならではの作りです。

## ■ 産経新聞連載「ウェブ立志篇」も収録

梅田氏が産経新聞に連載する「ウェブ立志篇」の26回分も加筆、再編集して掲載します。国内外のIT業界の先端事情はもちろんのこと、トレンド、教育、文明批評にいたるまで話題は縦横に飛び交います。

なお、この「iPadがやってきたから、もう一度ウェブの話をしてしよう」は、中島氏のアプリケーション「CloudReaders」を応用して制作しました。

## ■ 中島聡氏とは？

中島氏はUIEvolution(スクウェア・エニックスの子会社)のチーフソフトウェアアーキテクト。米国マイクロソフトでWindows95、Internet Explorer3.0/4.0、Windows98のチーフアーキテクトを務めたほか、

大学時代には日本のCADソフトの草分け的存在であるCANDYを開発するなど、国内外を問わず抜群の実績と知名度を誇るプログラマーです。

アプリケーション名称 : 「iPad がやってきたから、もう一度ウェブの話をしよう」  
販売場所 : App Store  
価格 : 450 円  
課金方法 : App Store を通じてお支払い  
対応端末 : iPad と iPhone (それぞれ別のアプリです)



■ 著者 梅田望夫(うめだ・もちお)  
1960 年、東京生まれ。慶應義塾大学工学部を卒業後、東京大学大学院情報科学修士課程修了。1997 年、ミュージアム・アソシエイツをシリコンバレーで創業。IT企業経営コンサルタントのかたわら、幅広い評論活動でも活躍中。

#### ■ 株式会社 産経新聞出版について

産経新聞社が発行する「産経新聞」・「サンケイスポーツ」・「夕刊フジ」・雑誌「正論」等の各媒体に連載された企画記事を単行本として出版するほか、産経新聞社雑誌局の業務を統合。従来の書籍出版と併せて雑誌・ムック等も含めた産経新聞グループの総合出版社として活動しています。

企業サイト : <http://www.sankei-books.co.jp/index.html>  
所在地 : 〒100-8077 東京都千代田区大手町1-7-2  
代表者 : 代表取締役社長 皆川豪志  
主な定期刊行雑誌 : 月間TVナビ、デジタルTVナビ、モーストリークラシックなど

#### ■ 株式会社 産経デジタルについて

2005 年 11 月設立。2006 年 2 月から株式会社産業経済新聞社のデジタル事業を引き継ぎ、産経新聞グループ各媒体のウェブサイト運営や、ポータルサイト・モバイル端末へのニュースコンテンツ配信、電子新聞事業などを手がけています。

企業サイト : <http://www.sankei-digital.co.jp/>  
所在地 : 〒100-8077 東京都千代田区大手町1-7-2  
代表者 : 代表取締役社長 近藤哲司  
運営サイト : MSN産経ニュース(<http://sankei.jp.msn.com/>)  
イザ! (<http://www.iza.ne.jp/>)  
ZAKZAK(<http://www.zakzak.co.jp/>)  
SANSPO.COM(<http://www.sanspo.com/>)  
SankeiBiz (<http://www.sankeibiz.jp/>)  
その他、各種携帯サイトなど

(※当プレスリリースは重複して配信されている場合がございます。ご容赦いただけますよう、お願い申し上げます)

#### ■ このプレスリリースに関するお問い合わせ先

(株)産経デジタル 企画部  
comm@sankei.co.jp